

平成23年度第1回「市長とランチでトーク」特別版

「市長とサマースクール」

- 開催日 平成23年8月5日（火曜日）
- 内容 ・市議会議場見学 9:20～9:40
・城址公園見学 9:50～10:20
・市役所3階特別会議室にて市長と懇談 10:40～12:00
- 出席者 <参加者> 小・中学生とその保護者7組21名
<市側> 市長

● 主な内容（抜粋）

事前に参加者からいただいていた質問に市長が回答しました。

《今回の地震について》

児童生徒： 今回の地震について、市の取組みについて教えてください。

市長： 防災計画を基に3月11日に対策本部会議を設置して、様々な情報を収集しながら、被害状況調査をしました。今回の地震では、たくさんの方が帰宅することができなくなったので、避難する場所を確保したり、毛布や食料、飲料水を配布するなどの対応にあたりました。また、被害が大きかった「清原地区」や「河内地区」などに医薬品や毛布、食料などを届けるとともに、被害に関する情報を収集するため、職員を向かわせました。

特に今回気付いたのは、放射能の問題です。これからは、放射能の問題にどう対応していくのか、実際に災害があったときにはどう対処していくのか、そういうことも防災計画に入れていきたい。

児童生徒： 清原中央小学校は今回の地震で被害を受けて本校舎は使えなくなっています。早く安全で安心な学校生活をおくれるようにしてください

市長： 今回の地震で、清原中央小学校と清原東小学校は大変な被害を受けてしまいました。清原中央小学校では校舎全体が駄目になってしまいましたが、ようやく清原中央・東の両小学校に仮設校舎ができ、今は仮設校舎の方で勉強して貰っています。なるべく早く新校舎で勉強してもらえるように、校庭が元どおり使えるようにしていきますのでうちちょっと頑張ってください。

児童生徒： 原発の風評被害についての対策はありますか。

市長： 一番怖いのは風評被害です。今は全ての牛や野菜の検査をしています。いま八百屋さんとかスーパーとかお店に出ているものは、全部安心ですから心配しない

でもraitaiです。

風評被害が広がると農家の人たちが困ってしまいます。農家の人が野菜を作っても買ってもらえないと農家が倒産してしまいます。そうすると新鮮な野菜が手に入らなくなり、他から買うことになります。当然値段も高くなりますし、農家の方々が仕事をやめてしまうと、市の税収も落ち、宇都宮全体が本当に貧しくなっていくてしまいます。そういう意味でも安全で安心なものは皆さん積極的に買ってくださいね。

《田原街道について》

児童生徒： 田原小学校の前の道路は狭いのですが、田原街道に歩道橋や歩道を作る予定はないのですか

市長： 市内の小・中学校の通学路の整備を一生懸命やっています。田原小学校についても、安全に通学ができるように整備していきたいと思いますが、市内には、多くの小・中学校がありますので、優先順位を決めて歩道の整備や、道路の拡幅、横断歩道の整備を行っていきます。

《宇都宮の観光について》

児童生徒： 宇都宮の観光のことをみんなにもっと知ってもらいたいので、地域ごとにその地域のことを教える小学生を選んで、紹介する時間を作って欲しいのですが

市長： 素晴らしい提案なので、市長と広報広聴課長と一緒に実現できるようにしたいと思います。

《産廃施設について》

児童生徒： 産廃施設が僕の家近くにできると聞きました、できないようお願いします。

市長： 家を壊した時の柱とか瓦などが産業廃棄物です。それを処理する工場が平出工業団地にできます。その工場が法律に従って建設されるのであれば、その工場に建設をやめてくださいと言うことは、宇都宮市役所ではできません。

しかし、産業廃棄物を処理する場合は、規制があります。この数値を超えたら人体に影響が出てしまうという場合は、建設を認めませんということになります。

もし、その数値を超えた場合には、市が工場で行っている仕事をしないように命令することはできます。

《LRTについて》

児童生徒： 今、LRTが走っているところはどこですか

市長： 富山県の富山市で一部走っています。LRTはバスと同じように駅や停車場を

簡単に作ることができます。そこにバス停があればバスと繋げて交通網を広げることができます。

《税金について》

児童生徒： 宇都宮市に入る税金は年間でいくら位になるのですか。それはどのように使われていますか。

市長： 今年はまだ計算が出ておりませんが、去年で約880億円の税金を皆さんからいただいています。

この税金と国や県からの補助金を宇都宮の皆さんのサービス向上のために使っています。水道の管理や戸籍、住民票の管理、予防接種などもそうです。それから先程話した清原中央小学校、清原東小学校の校舎の建て替えとか改築にも使われています。学校給食にも使われています。

《節電について》

児童生徒： 節電についてですが、宇都宮市の削減幅はどれくらいですか。

市長： 市では縮減率 20%以上を目標にしていたのですが、23%削減することができました。

また、午後はたくさんの電気を使うので、仕事を始める時間と終わる時間を 30分早くするサマータイムを導入して、皆が仕事を早く終わらせて、電気を使わなくて済むようにしています。



市長とサマースクール参加者のみなさん